

2. Manbun村Musah地区における生活用水源地整備(カメルーン)

(1)実施団体:Cameroon Leaders Empowerment Initiative (#030)

2021年3月設立、若者を中心とし持続可能な地域社会実現を目指す団体

(2)プロジェクト計画時予算:1,982ドル

(拠出内訳)JWFファンド1,500ドル、実施団体342ドル、受益者140ドル

最終支出額:2,123ドル

(拠出内訳)JWFファンド1,500ドル、実施団体360ドル、受益者138ドル、その他寄付者125ドル

(3)受益者数:2,700人

(4)実施地の水問題:

①対象地区の生活用水源には、周囲を囲う堀や側溝がないため、地表水やゴミの混入等により、常に汚染状態にあり、住民は、こうした汚染水を使用することによる疫病に悩まされていた。

②この水源以外には、4キロ先の別の水源まで徒歩で行くしかなく、生活にも多大な支障が生じていた。

③水汲みには子供達も従事しており、学校の欠席率の高止まりや学力低下も慢性化していた。



住民が現在使用している生活用水源地

(5) 主な活動内容:

関係者との協議、水源地への堀・溝・水栓の設置、水管理委員会の設置、清掃・メンテナンスの実施等
安全な飲み水や衛生習慣に関するトレーニング

2. Manbun村Musah地区における生活用水源地整備（カメルーン）

実施中



Mr. Niba さん
(18歳)

以前は、乾季には朝早く起きて水汲みのための列に並ばなければなりませんでした。遅くなると4km先の別の水源まで水を汲みに行き、学校に遅刻していました。もう水汲み行列には並ばなくて、勉強する時間が増えました。

実施後



Ms. Manka さん
(36歳)

プロジェクト前は水源池の流水口が1つしかなかったため、乾季には水を汲むために朝早く起きて何時間も並ばなければなりませんでした。今は水栓が3つあって水量も安定しているので水汲みが10分もかからずに済み、他の家事も終わらせることができます。